

山口清季社長(右)から目録と
体温計を受け取る横家敏昭町
長(白川町役場)



ヤマグチ建設が 体温計55個贈る

白川町

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、建設や土木工事などを手掛けるヤマグチ建設(白川町切井、山口清季社長)が、同町に非接触型体温計55個を寄贈した。

同社が社会貢献の一環として、新たに購入して町に贈った。体温計は、町内の

ホビーショップB- 多治見市

のが個人店の強みに、初心者の疑に対応する。

小学生向けの塾に開くほか、コン2回開催。客が作品を店舗内に展示大脇さんは「固定われず、色や形をるのがプラモデル話す。5月6日ま

プラモ制作サポート

県内ぐるり お店めぐり

店長の大脇健太郎さん(49)と妻浩子さん(47)が10年前に開店したプラモデル店=写真=。会員制の制作スペースがあり、帰宅前の会社員らが制作に打ち込むという。

「機動戦士ガンダム」シリーズのプラモデル(ガンプラ)を多く取りそろえ、カスタム用パーツ、工具、塗料など品ぞろえは5000点以上。大脇さんが「直接アドバイスできる

小中学校や保育園、公共施設に配られ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に生かされる。

同町役場を訪れた山口社長は、横家敏昭町長に目録と体温計を手渡し、「町のために少しでもお役立ちで

きれば」と話した。横家町長は「感染症対策で活用させていただく」と、同町の鈴木雅史教育長は「学校用に欲しいと思っていただけに

かなか手に入らず、非常に助かる」とそれぞれ謝意を述べた。(原田大介)